

令和7年度 東国分中学校 学校生活の指針

生徒指導部

学校生活の指針について

本校では、校則という生徒の行動を制限するものから、学校生活の指針という形で、目指してほしい生徒の姿として示しています。以下、集団で送る学校生活が、より良く充実したものとなるよう詳しく説明しています。尚、安全上の観点から禁止されている行動もあります。しっかりと守りましょう。

禁止している行為

- ・危険な行為又は周囲に危険を感じさせる行為
- ・他者に苦痛を与える、人格を傷つける行為
- ・集団の雰囲気を著しく妨げたり、迷惑をかける行為
- ・学校生活の目的にそぐわない行為

以上のことと踏まえた上で、皆さんの学校生活が充実したものになるよう学校生活を送る上での基準として、「学校生活の指針」というかたちで以下のとおり挙げました。これらをもとに、その場、その状況に合った判断や立ちふるまいができる東国分中生を目指していきましょう。

望ましい生活習慣など

1. 登 下 校

- 登校時間を守り、自分の席に座りましょう。
- 寄り道をせずに登校し、登校後は無断で外出しないようにしましょう。
- 下校時刻を正しく守り、やむを得ず校内に残る場合は先生の許可を得ましょう。
- 学校へ来る時には（指示されていない時は）常に制服を着用して登校しましょう。

2. 遅刻・早退・欠席

保護者からの電話連絡、マチコミを使用する。いずれかの手段で連絡が届くようにしましょう。

3. 授業について

- 授業開始のチャイムが鳴るまでに授業の準備をして着席しましょう。
- 移動教室にて授業を受ける場合は早めに移動しましょう。
- 学習中、教室を出入りする場合には、先生に申し出て許可を得ましょう。
- 移動教室の場合には、戸締り、消灯を行いましょう。

4. 休み時間について

- 休み時間は、次の授業の準備やトイレをすませましょう。
- 教科リーダーは、休み時間に先生に連絡し、次の授業に必要な準備を確認しましょう。
- 他教室に入ったり、他学年の場所に行くなど迷惑となる行為はやめましょう。

5. 給食・昼休みについて

- 4時間目が終わったらできるだけ早くトイレ・手洗いを済ませ、着席をしましょう。
- 給食当番はエプロン・三角巾・マスクを着用し配膳しましょう。
- 配膳中は席について待つなど、教室の衛生に努めましょう。
- 「いただきます」「ごちそうさま」を心かけましょう。
- みんなが気持ちよく食事できるように心がけましょう。（食べ物を粗末にしない。均等に分ける。）
- ごちそうさまの後、歯みがきを行うようにしましょう。

6. 清掃について

自分達の生活の場を常にきれいにしておくように心がけ、進んで校舎内外の美化につとめ、教室、廊下を整理整頓し、清掃分担場所を全員できれいにしましょう。

上履き・外履きの区別をはっきりしましょう。

清掃は、気温や天候にあわせて、体操服やジャージで行いましょう。

7. 持ち物について

生徒証は、通学カバンなどに入れて携帯し、身分を証明できるようにしましょう。

携帯電話・スマートフォンの校内への持ち込みはできません。

必要な場合は携帯所持許可証を担任からもらい提出しましょう。

必要な金銭以外は、絶対に持参しないようにし、納金の必要がある時は朝のうちに提出しましょう。

落し物をした時や、拾得した時はすぐに担任の先生に届け出ましょう。

8. 施設（校舎・校庭）校具等の使用

施設、校具の使用は必ず先生の許可を得て使用し、使用後は責任をもって後始末をしましょう。

校舎内外の施設、教具をよごしたり、傷つけたり破損しないように心がけ、もしそのようなことがあつたら担任に届けましょう。弁償すべきものは定められた金額を弁償する可能性があります。

学校内の樹木や花壇、芝生は愛護し、いたわるようにしましょう。

9. その他、生活全般について（マナーやルールなど）

互いにあいさつをすることを心がけ、校内においても先生や来訪者に会った時は、会釈をするなど一般的な常識をみにつけましょう。言葉づかいは、正しくていねいな言葉を使うように努めましょう。

職員室に入室する時は、マフラー・コートを脱ぎ、カバンを置いて 「学年・クラス（部活動）名前・用件のある先生の名前」を伝わるように声掛けをしましょう。

校舎内では、コート等を脱いで生活しましょう。

入室の時は、必ずノックして許可を得てから入りましょう。

自転車での通学はしないこと。

10. 保健室の利用について（確認事項）

担任もしくは授業担当の教員の了承を得て来室すること。

保健室の利用は原則1時間とし、軽快がみられない場合は早退の措置をとります。

体調不良による早退をする場合は、学級担任・学年職員等、養護教諭が保護者に連絡をしてから下校する。

早退後、家庭に着いた後、学級担任、または、養護教諭に連絡を入れてください。

保健室を退室する際、養護教諭は生徒に「保健室連絡カード」を渡す。生徒は授業担当の教員に渡す。

11. 図書室の利用について

開館は昼休みと放課後行い、館内では静かに読書して人の迷惑にならないようにする。

館内閲覧は自由であるが、館外貸出しは、カウンターのパソコンを通して、手続きを行う。

貸出しは1回に5冊まで、期間は14日間とする。

本は大切に扱う。本を破損したり、紛失した場合は、係の先生に申し出る。場合によっては弁償してもらうこともあります。

規則の守れない人には貸出しを停止こともあります。

本は元の所に必ず返し、椅子などもきちんと元の位置にもどす。

借りたい本が貸し出し中に限り、予約をすることができる。

夏休み・冬休み前には長期貸し出しを行う。貸し出し冊数はひとり10冊までとする。

東国分中学校 服装・頭髪等について（全学年共通）

服装について（登下校・学校内での服装）

①登下校時の服装

- ・学校指定の制服とします。気候状況等によりジャージ、体操服での登下校を認める時期もあります。
- ・ズボンを着用する場合は、ベルト（黒色で装飾のないもの）を着用しましょう。
- ・スカートの場合、寒い日は黒色のタイツ又はストッキングを着用しても構いません。
- ・寒い日は、手袋、マフラー、コートを着用しても構いません。なお、コートを着用する際は、（黒・紺・灰色系統）で無地のPコート又はダッフルコートを着用しましょう。
- ・カバンは本校指定のカバン（リュック型）を使用しましょう。なお、自分のものと判別できるよう、カバンにキーホルダー（こぶし程度の大きさまで）を1個までつけても構いません。
- ・通学靴は運動靴とします。色の制限はありません。（内側に名前を書きましょう）
- ・休日の部活動や学校行事等の際は、それぞれ許可された服装で登下校して構いません。
- ・いずれも身だしなみや着こなしに留意しましょう。

（詳細は別紙「制服の着こなし方」を参照しましょう）

②校内での服装

- ・学校指定の体操服、ハーフパンツ、ジャージ、上履き（学年カラーのもの）とします。
- ・寒い場合は、インナー、セーター、カーディガンをジャージの下に着用しても構いません。なお、着用する際は（黒・紺・灰色系統）の無地とし、裾や袖からはみ出ないようにしましょう。
- ・必要に応じて、授業に支障のない範囲でひざ掛け（華美でないもの）を使用して構いません。
- ・授業の教科や内容等によって、服装が指定される場合もあります。

頭髪について

学習の場にふさわしい、清潔感のある頭髪を心がけましょう。

- ・前髪は、目にかかる長さを心がけ、かかる場合はピン（華美でないもの）で止めてください。
- ・髪が肩にかかる場合は、ヘアゴム（黒・紺・灰色系統）で結び、髪飾りは、使用しないでください。
- ・染色や脱色など、人工的な加工（整髪料による加工も含む）はしないでください。
- ・髪の一部を極端に短くしたり、長くしたりしないようにしましょう。
- ・化粧はしないでください。

（上履き・外靴・靴下）について

靴下

○白または、（黒・紺・灰色系統）とする。（ワンポイント可）くるぶしでも可。

※ストッキング（黒）も可とする。（使用に関する内容は学校生活や授業のルールに従うこと）

上履きに関するきまり

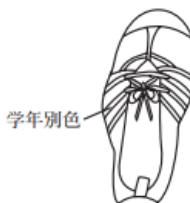
○本校指定のものを履くこと。

○上履きの内側の記名欄に必ず名前を記名すること。

外靴に関するきまり

○外靴の内側の部分に記名すること。

○運動靴を着用すること。（靴の色は問わない）



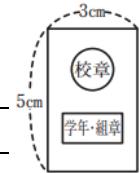
式典の服装について

・式に相応しい着こなしをする

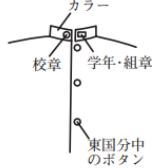
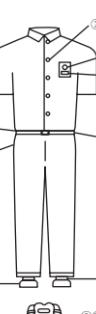
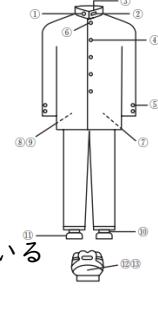
・式典のみ靴下の色等を統一。

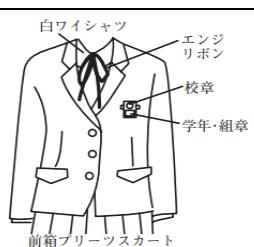
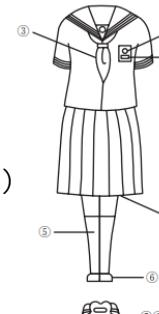
*黒か紺・くるぶし×・ワンポイント○*防寒で黒のタイツ○ →タイツに靴下は履かない

東国分中学校 制服の着こなし方（令和5年度以前入学者）



制服について

男子（夏服）	男子（冬服）
<ul style="list-style-type: none"> ○白の半袖または長袖のワイシャツズボンは冬に準ずる ○胸には校章、学年・組章をつける 	<ul style="list-style-type: none"> ○黒の詰えり、黒長ズボン（ベルトレスは禁止） ○えりに校章、学年、組章をつける ○男子の服の下に着るワイシャツは白とする 
男子（夏服）全般的な注意点	男子（冬服）全般的な注意点
<ul style="list-style-type: none"> ①校章 ②クラス章 ③前ボタン5つ。いつも第二ボタンから下はすべて留めている ④黒色ベルト ⑤Yシャツのそそをズボンの中に入れる ⑥腰パンをしていない ⑦靴下に関する内容は別紙参照 ⑧通学靴は運動靴（靴の色は問いません） ⑨上履きに記名してある ⑩上履きのかかとを踏んでいない 	<ul style="list-style-type: none"> ①校章 ②クラス章 ③カラー ④前ボタン5つ ⑤袖ボタン左右2つずつ ⑥いつも第一ボタンまで留めている ⑦黒色ベルト ⑧Yシャツのそそをズボンの中に入れている ⑨腰パンをしていない ⑩靴下に関する内容は別紙参照 ⑪通学靴は運動靴（靴の色は問いません） ⑫上履きに記名してある ⑬上履きのかかとを踏んでいない 

女子（夏服）	女子（冬服）
<ul style="list-style-type: none"> ○白のセーラー服（半袖）。紺の前箱プリーツスカート（つり使用）。移行期間はブラウスでもよい ○スカート丈は、ひざ頭をかくす長さとする ○校章、学年・組章は冬に準ずる 	<ul style="list-style-type: none"> ○白ワイシャツ、前箱プリーツスカート（つり使用） ○エンジリボン ○紺のブレザー ○紺の布に校章、学年、組章をつけ、左胸につける ○スカート丈は、ひざ頭がくれる長さとする 
女子（夏服）全般的な注意点	女子（冬服）全般的な注意点
<ul style="list-style-type: none"> ①校章 ②クラス章 ③スカーフ ④スカート丈はひざ頭をかくす長さ ⑤靴下に関する内容は別紙参照 ⑥通学靴は運動靴（靴の色は問いません） ⑦上履きに記名してある ⑧上履きのかかとを踏んでいない 	<ul style="list-style-type: none"> ①校章 ②クラス章 ③リボン（第一ボタンのところで結び、ゆるんでいない） ④ブレザー前ボタン3つ ⑤ブレザー袖ボタン左右2つずつ ⑥いつもYシャツ第一ボタンまで留めている ⑦スカート丈はひざ頭をかくす長さ ⑧靴下に関する内容は別紙参照 ⑨通学靴は運動靴（靴の色は問いません） ⑩上履きに記名してある ⑪上履きのかかとを踏んでいない 

東国分中学校 制服の着こなし方（令和6年度以降入学者）

R7年度冬服



冬服の着こなしについて（注意点）

紺（指定）のブレザーを着る場合

- 白の長袖のワイシャツを着ましょう。
- ワイシャツの下は体操服を着用しましょう。
- ワイシャツのボタンはすべて留めましょう。
- ※ネクタイ・リボンのどちらかを着用する。
ゆるみがないように調整しましょう。

ワイシャツのみを着る場合

- ネクタイ・リボンをつける際はワイシャツのボタンはすべて留めましょう。
- ネクタイ・リボンをつける場合は、第二ボタンから下はすべて留めましょう。

（スラックス着用）注意点

- Yシャツのすそをスラックスの中に入れていること。
- 腰履きをしていないこと。
- 黒色ベルトを着用すること。

（スカート着用）注意点

- ワイシャツのすそをスカートの中に入れている。
- 腰履きをしていない。
- スカート丈は、ひざ頭がかくれる長さとする。

その他

靴下

- 白または、（黒・紺・灰色系統）とする。（ワンポイント可）くるぶしでも可。
- ※ストッキング（黒）も可とする。（使用に関する内容は学校生活や授業のルールに従うこと）
- 外靴に関するきまり
○外靴の内側の部分に記名すること。○運動靴を着用すること。（靴の色は問わない）

R7年度夏服

・ネクタイ・ボンはつけてもつけなくてもどちらでも構いません
・ワイシャツは長袖・半袖どちらでも可能です。
　　ワイシャツの下は体操服を着用してください。



夏服（上着）の注意点

○体操服登校を許可していく。（期間に関しては学校から指示があります）

- 白の半袖または長袖のワイシャツをすること。
- ワイシャツの下は体操服を着用しましょう。
- ネクタイ・リボンをつける際はワイシャツのボタンはすべて留めましょう。
- ネクタイ・リボンをつける場合は、ワイシャツの第二ボタンから下はすべて留めましょう。

（スラックス着用）注意点

- Yシャツのすそをスラックスの中に入れていること。
- 腰履きをしていないこと。
- 黒色ベルトを着用すること。

（スカート着用）注意点

- ワイシャツのすそをスカートの中に入れている。
- 腰履きをしていない。
- スカート丈は、ひざ頭がかくれる長さとする。

その他

靴下

- 白または、（黒・紺・灰色系統）とする。（ワンポイント可）くるぶしでも可。
- ※ストッキング（黒）も可とする。（使用に関する内容は学校生活や授業のルールに従うこと）
- 外靴に関するきまり
○外靴の内側の部分に記名すること。○運動靴を着用すること。（靴の色は問わない）